

ANTENNA

第2回全統高2模試

全国136,190名の高2生が参加して実施された第2回全統高2模試の成績結果と学習アドバイスをお届けします。

今回の模試では、夏休みの学習成果の確認と、基本事項の理解度を試すことを目的として出題しました。

『学習の手引き』や本冊子を活用して、誤答箇所を再確認し、成績状況を把握してより効果的な学習を進めてください。今の実力をさらに伸ばすよう、早めに目標を定めて着実に学習を重ねてください。

《次回実施のご案内》

次回全統模試のご案内につきましては、こちらをご確認ください。

www.kawai-juku.ac.jp/zento/

スマートフォンの方はこちら



も く じ

《全統模試見直しシート》	2
《これが今回の模試の結果だ》	
個人成績表の見方	3
・あなたの成績と比較しよう	
総合成績表・科目別成績表	5
・どの設問で差がついたか確認しよう	
教科科目別設問別成績表	6
小問(単位問)別平均点	7
《弱点克服のためにもう一度見直そう》	
学習対策	9
英語	9
数学	9
国語	10
《採点に関する問い合わせについて》	11
《お問い合わせ先一覧》	13

※本冊子の編集内容の無断転載・複製を禁止します。

全統模試 見直しシート

STEP 1

個人成績表「1. 成績概況」を確認し、受験した教科・科目と偏差値を書き込みましょう。

STEP 2

個人成績表「2. 設問別成績」の、あなたと同じ学力レベル層や、第1志望校の一段階上の判定者との成績比較で差がついた設問を確認し、弱点となっている分野を書き込みましょう。

STEP 3

弱点分野を中心に、「学習の手引き」や本冊子の「学習対策」、模試ナビの解説講義動画などを確認し、今回の模試の反省点と、今後の具体的な対策（何を、いつまでにやるのか）を書き込みましょう。

STEP 4

個人成績表「3. 志望校別成績・評価」を参考に、次回の模試の目標得点を書き込みましょう。

STEP 1		STEP 2	STEP 3		STEP 4
教科・科目	偏差値	弱点分野	今回の反省点	今後の対策	次回の目標得点
(例) 英語	52.1	文法・語法	基本的な文法の理解ができていない	次回の模試までに文法集の11～30ページをノートにまとめて復習する	55.0



河合塾 全統模試学習ナビゲーター



模試ナビは、Web上で全統模試の復習や成績確認などができるサービスです

利用料無料



河合塾講師によるわかりやすい解説講義動画が視聴可能！
間違えた問題は必ずチェックして理解を深めよう。



詳しい学習アドバイスやライバルとの差をつける追加問題など、模試ナビだけのコンテンツも多数閲覧できます。

詳しくはこちらから
www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/

個人成績表の見方

各項目について、詳しくは4ページをご確認ください。

1. 成績概況

自分の学力状況や全国での位置づけを確認しましょう

- 各科目の得点や偏差値、順位、平均点などを表示しています。

教科・科目	あなたの得点	偏差値	学力レベル	平均点	順位(人中)	平均点	順位(全国偏差値による)	偏差値	平均点	順位(全国偏差値による)
英語 英語	129 / 200	70.0	S	69.0	4893 / 144624	68.8	247 / 2859	74.1	66.0	7 / 284
総合	123 / 200	64.2	A	78.2	11646 / 136281	78.6	555 / 2859	58.9	87.5	59 / 283
数学 必須問題	39 / 50	63.3	A	64.2	12200 / 136281	64.3	816 / 2859	55.4	71.4	90 / 283
選択問題	34 / 50	71.3	S	14.0	4400 / 135038	14.0	101 / 2815	67.0	16.2	9 / 281

全統高2模試 個人成績表 第1面【秘】

教科・科目	あなたの得点	偏差値	学力レベル	平均点	順位(人中)	平均点	順位(全国偏差値による)	偏差値	平均点	順位(全国偏差値による)
英語 英語	129 / 200	70.0	S	69.0	4893 / 144624	68.8	247 / 2859	74.1	66.0	7 / 284
総合	123 / 200	64.2	A	78.2	11646 / 136281	78.6	555 / 2859	58.9	87.5	59 / 283
数学 必須問題	39 / 50	63.3	A	64.2	12200 / 136281	64.3	816 / 2859	55.4	71.4	90 / 283
選択問題	34 / 50	71.3	S	14.0	4400 / 135038	14.0	101 / 2815	67.0	16.2	9 / 281

設問別成績	あなたの得点	偏差値	学力レベル	平均点	順位(人中)	平均点	順位(全国偏差値による)	偏差値	平均点	順位(全国偏差値による)
リスニング	18 / 20	8.2	7.0	11.8	6.2	0.1	31.0%	Sレベル	1	12.7
英会話	4 / 8	3.1	2.7	3.7	0.3	3.8%			2	3.6
英文基礎	15 / 32	15.4	12.1	17.8	-1.5	-5.6%			3	18.9
4 読解文	21 / 40	10.2	7.9	19.1	1.9	4.8%			4	21.1
5 英文総合Ⅰ	31 / 55	20.8	16.4	35.4	-4.4	-8.0%			5	38.8
6 英文総合Ⅱ	39 / 45	24.1	20.0	37.3	1.7	3.8%			6	40.1

設問別成績	あなたの得点	偏差値	学力レベル	平均点	順位(人中)	平均点	順位(全国偏差値による)	偏差値	平均点	順位(全国偏差値による)
リスニング	18 / 20	8.2	7.0	11.8	6.2	0.1	31.0%	Sレベル	1	12.7
英会話	4 / 8	3.1	2.7	3.7	0.3	3.8%			2	3.6
英文基礎	15 / 32	15.4	12.1	17.8	-1.5	-5.6%			3	18.9
4 読解文	21 / 40	10.2	7.9	19.1	1.9	4.8%			4	21.1
5 英文総合Ⅰ	31 / 55	20.8	16.4	35.4	-4.4	-8.0%			5	38.8
6 英文総合Ⅱ	39 / 45	24.1	20.0	37.3	1.7	3.8%			6	40.1

設問別成績	あなたの得点	偏差値	学力レベル	平均点	順位(人中)	平均点	順位(全国偏差値による)	偏差値	平均点	順位(全国偏差値による)
リスニング	18 / 20	8.2	7.0	11.8	6.2	0.1	31.0%	Sレベル	1	12.7
英会話	4 / 8	3.1	2.7	3.7	0.3	3.8%			2	3.6
英文基礎	15 / 32	15.4	12.1	17.8	-1.5	-5.6%			3	18.9
4 読解文	21 / 40	10.2	7.9	19.1	1.9	4.8%			4	21.1
5 英文総合Ⅰ	31 / 55	20.8	16.4	35.4	-4.4	-8.0%			5	38.8
6 英文総合Ⅱ	39 / 45	24.1	20.0	37.3	1.7	3.8%			6	40.1

2. 設問別成績

分野ごとの成績や、どの分野でライバルと差があったのかを確認しましょう

- 各科目の設問別の成績や、成績を基にした学習アドバイスを表示しています。
- あなたと同じ学力レベル層 (S~Fレベル) の平均点とあなたの得点を比較して、最も良かった設問に○、悪かった設問に▲を表示しています。
- 第1志望について、あなたの評価より一段階上の判定者との成績比較を表示しています。

3. 志望校別成績・評価

志望校までの距離やライバルの中での位置づけを確認しましょう

- 志望大学・学部・学科の総志望者の中での、あなたの位置づけを示しています。
- 評価では、学習到達度の度合いを下の5段階で表示しています。

A: この調子で頑張れば合格圏内 D: まだまだ努力が必要、頑張りましょう
 B: もうひとふんばりで合格圏内 E: 志望大学へ向けて、まず基本事項の総復習を行いましょう
 C: これからの努力次第、弱点を克服しましょう H: 教科不足による国公立大参考評価

全統高2模試 個人成績表 第2面【秘】

学力要素別成績	あなたの得点率 (%)	全国平均得点率 (%)	校内平均得点率 (%)	平均偏差値	あなたと同じ学力レベル層との比較
知識・技能	61.7	36.6	31.4	54.7	7.0
思考力・判断力	62.6	40.3	32.5	65.2	-2.6
表現力	75.0	46.1	36.8	72.0	3.0
知識・技能	52.7	53.9	58.2	56.9	-4.2
思考力・判断力	78.3	59.9	62.4	63.2	-15.1
表現力	100.0	58.4	64.8	59.4	40.6
知識・技能	48.0	41.6	38.4	50.0	-2.1
思考力・判断力	71.8	56.5	55.1	66.6	5.2
表現力	39.3	32.3	29.7	39.2	0.1

学力要素別成績 要素の説明

回	偏差値	30	40	50	60	70
1 (5月)	57.1					
2 (8月)	64.2					
3 (月)						
記述(月)						

4. 成績推移

学習成果の長期的な推移を確認しましょう

- 本年度の第1~3回全統高2模試・全統記述高2模試の成績推移を表示しています。

5. 学力要素別成績

どの学力要素でライバルとの差があったのか、自身の弱点を確認しましょう

- 教科別・学力要素別の得点率と、全国や校内の平均得点率を表示しています。
- あなたと同じ学力レベル層 (S~Fレベル) の平均得点率と、あなたの得点率を比較できるように表示しています。

個人成績表の見方<注釈>

1. 成績概況

■学カレベルの定義は以下の通りです。

S : 偏差値 65.0 以上	D : 偏差値 45.0 ~ 49.9
A : 偏差値 60.0 ~ 64.9	E : 偏差値 40.0 ~ 44.9
B : 偏差値 55.0 ~ 59.9	F : 偏差値 40.0 未満
C : 偏差値 50.0 ~ 54.9	

■総合1は、1型：英数型、2型：英国型、3型：英数国型の各受験型の母集団での位置づけを示します。「偏差値」は、全受験科目の偏差値の平均値です。

■総合2は、文系または理系別の位置づけを示します。理系・文系の区分けは英数国型生は受験届のマークによります。また英数型生は理系、英国型生は文系とします。成績は、理系は英・数、文系は英・国の偏差値の平均値を用い、それぞれの全受験者の中での順位および平均点を表示しています。

■校内成績欄の母集団は、在籍高校です。偏差値は母集団が20名以上の場合のみ表示しています。

※校内順位は全国偏差値をもとに順位づけしています。

2. 設問別成績

■第1志望校の一段階上の判定者との成績比較とは、例えばあなたがC判定であれば、B判定者の平均点との比較になります（A判定の場合はA判定者の平均点との比較になります）。母集団は国公立大は出願予定者、私立大は総志望者です。一段階上の判定者が一人もいない場合は表示されません。

3. 志望校別成績・評価

■「学部・学科内の順位」では、志望大学・学部・学科の総志望者の中での、あなたの位置づけを示します。

■「評価偏差値」

国公立大については、英・数・国の3教科の偏差値の平均値を使用しています。

ただし、3教科受験していない場合でも、2教科を受験していれば、参考として「H」を付して評価を行います。ただし、順位は表示されません。

私立大・短期大については、学科内容から文・理分けを行い、理系は英・数、文系は英・国の偏差値の平均値を使用します。

ただし、上記の教科を受験していない場合でも、2教科を受験していれば、参考として評価を行います。

※1教科しか受験していない場合は、評価は行わず順位も表示されません。

■「評価」では、志望大学に合格するために必要な学力がどのくらい身につけているのかの、学習到達度の度合いの「評価」を、以下の5段階で表示しています。

A : この調子で頑張れば合格圏内
B : もうひとふんばりで合格圏内
C : これからの努力次第、弱点を克服しましょう
D : まだまだ努力が必要、頑張りましょう
E : 志望大学へ向けて、まずは基本事項の総復習を行きましょう
H : 教科不足による国公立大参考評価

詳しくはこちらの該当模試のページからご確認ください。
www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/



4. 成績推移

■本年度の第1～3回全統高2模試・全統記述高2模試の各教科・英数国の総合成績の偏差値を棒グラフで表示しています。学力伸長度・学習成果の長期的な変化を確認できます。今後の学習対策に役立ててください。

5. 学力要素別成績

■今回の模試で出題された各問題が主にどんな学力を問うているのかを、学力を「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」の3要素に分類し学力要素ごとの成績（得点率）を表示しています。選択問題が出題されている場合は、選択パターンごとに集計しています。

◆総合成績表 受験者総数 136,190名

英数（理系）、英国（文系）は、文理別の全受験者を母集団としています。

	配点	平均点	標準偏差	平均偏差値	最高点	最低点	人数
英数型	400	144.1	-----	47.9	344	0	2394
英国型	400	144.5	-----	46.4	322	8	6132
英数国型	600	237.5	-----	50.1	549	0	127456
英数	400	176.6	-----	52.0	389	0	72638
英国	400	160.8	-----	49.3	349	0	63344

※全国の受験者の中での位置を教科・科目別／志望別に確認できる「教科科目別成績順位表」「受験型別総合偏差値順位表」や、選択した志望校以外の大学・学部・学科の二次試験・一般試験の合格可能性が確認できる「合格可能性評価基準一覧」を河合塾ホームページに掲載しています。
www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/

スマートフォンの方は
こちら



◆科目別成績表

この模試に何人参加し、平均点はどれくらいであったのか、自分の成績は平均点よりどれほど差があったのか、また最高点はどれくらいあったのかを教科・科目別に読みとれます。自分の結果と照らし合わせ、攻略すべき教科・科目を確認してください。

	配点	平均点	標準偏差	平均偏差値	最高点	最低点	人数
英語	200	89.5	35.6	50.0	197	0	136036
数学	200	70.6	42.1	50.0	200	0	129952
数学必須	150	55.5	32.3	50.0	150	0	129952
数学選択	50	15.2	12.9	50.0	50	0	128565
国語	200	76.0	24.2	50.0	182	0	133680
現代文	110	48.5	14.5	50.0	101	0	133680
古文	50	14.4	7.3	50.0	47	0	133680
漢文	40	13.1	8.2	50.0	40	0	133680

◆教科科目別設問別成績表

設問ごとの平均点はどれくらいであったか、自分の成績と比べ、平均点との差に注目してください。
その結果から、弱点分野を確認し、今後の学習に役立ててください。

英 語

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	89.5	35.6	197	0	136036
1	リスニング	31	10.6	5.5	31	0	136036
2	単語・イディオム	20	9.3	3.9	20	0	136036
3	文法・語法	26	11.2	5.2	26	0	136036
4	英作文（整序作文・和文英訳）	29	10.1	7.4	29	0	136036
5	長文総合Ⅰ	54	25.6	12.8	54	0	136036
6	長文総合Ⅱ	40	22.7	9.9	40	0	136036

国 語

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	76.0	24.2	182	0	133680
1	現代文「評論」の読解と内容把握	60	22.7	9.3	58	0	133680
2	現代文「小説」の読解と内容把握	50	25.8	8.4	47	0	133680
3	古文「日記」の読解と内容把握	50	14.4	7.3	47	0	133680
4	漢文「史伝」の読解と内容把握	40	13.1	8.2	40	0	133680

数 学 *数学の①・②・③は、必須問題です。④・⑤・⑥は、選択問題です。

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	70.6	42.1	200	0	129952
1	数学Ⅰ・A・Ⅱ小問集合	40	21.6	11.7	40	0	129952
2	2次関数，図形と方程式	60	22.7	14.6	60	0	129952
3	式と証明，複素数と方程式	50	11.2	9.8	50	0	129952
4	確率	50	15.0	13.8	50	0	68090
5	三角関数	50	17.4	11.9	50	0	37033
6	数列	50	12.7	11.2	50	0	23442

小問（単位問）別平均点＜英 語＞

英 語 受験者数： 136036 人

設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	リスニング	31	10.6	1. A. 1	2	2.0	○						
				1. A. 2 (a)	2	0.2	○						
				1. A. 2 (b)	2	0.1	○						
				1. A. 3 (a)	2	1.5	○						
				1. A. 3 (b)	2	0.4	○						
				1. B. 1	3	1.5		○					
				1. B. 2	3	0.8		○					
				1. B. 3	3	0.3		○					
				1. C. 1	4	1.1		○					
				1. C. 2	4	0.6		○					
				1. C. 3	4	2.0		○					
				2	単語・イディオム	20	9.3	2. A. 1	2	0.5	○		
								2. A. 2	2	1.0	○		
2. A. 3	2	1.2	○										
2. A. 4	2	0.9	○										
2. A. 5	2	0.7	○										
2. A. 6	2	1.2	○										
2. B. 1	2	0.6	○										
2. B. 2	2	1.4	○										
2. B. 3	2	1.2	○										
2. B. 4	2	0.5	○										
3	文法・語法	26	11.2					3. A. 1	2	0.9	○		
								3. A. 2	2	0.9	○		
				3. A. 3	2	1.1	○						
				3. A. 4	2	1.0	○						
				3. A. 5	2	1.1	○						
				3. A. 6	2	0.6	○						
				3. A. 7	2	0.5	○						
				3. A. 8	2	0.6	○						
				3. A. 9	2	1.7	○						
				3. A. 10	2	1.2	○						
				3. B. 1	3	0.8	○						
				3. B. 2	3	0.7	○						
				4	英作文（整序作文・和文英訳）	29	10.1	4. A. 1	4	1.5	○		
								4. A. 2	4	1.1	○		
4. A. 3	4	1.1	○										
4. A. 4	4	1.1	○										
4. B. 1	5	1.9	○										
4. B. 2	8	3.5	○										
5	長文総合 I	54	25.6	5. 問1	10	3.6	○						
				5. 問2	3	1.7		○					
				5. 問3	10	5.5		○					
				5. 問4	10	7.1	○						
				5. 問5	3	1.1		○					
				5. 問6	3	1.9		○					
				5. 問7	4	1.7		○					
				5. 問8 (A)	5	1.8			○				
				5. 問8 (B)	6	1.3			○				
6	長文総合 II	40	22.7	6. 問1. 1	6	4.5		○					
				6. 問1. 2	6	3.6		○					
				6. 問1. 3	6	2.7		○					
				6. 問1. 4	6	3.9		○					
				6. 問1. 5	6	3.1		○					
				6. 問2	10	5.0		○					

小問（単位問）別平均点＜数 学＞

数 学 受験者数： 129952 人

設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	数学 I ・ A ・ II 小問集合	40	21.6	1 (1)	5	3.6	○						
				1 (2)	5	3.4	○						
				1 (3)	5	3.5	○						
				1 (4)	5	1.9	○						
				1 (5) ア	5	2.8	○						
				1 (5) イ	5	1.9	○						
				1 (6) ウ	5	3.2	○						
				1 (6) エ	5	1.4	○						
				2	2次関数、図形と方程式	60	22.7	2 [1] (1)	8	5.9	○		
								2 [1] (2)	8	5.5	○		
								2 [1] (3)	14	2.0		○	
2 [2] (1)	8	5.4	○										
2 [2] (2)	10	3.1	○										
3	式と証明、複素数と方程式	50	11.2	2 [2] (3)	12	0.8		○					
				3 (1)	6	3.0	○						
				3 (2)	10	3.9	○						
				3 (3)	10	3.7	○						
				3 (4) (i)	12	0.5		○					
4	確率	50	15.0	3 (4) (i i)	12	0.1		○					
				4 (1) (i)	6	4.8	○						
				4 (1) (i i)	12	4.7	○						
				4 (2) (i)	12	3.6		○					
5	三角関数	50	17.4	4 (2) (i i)	20	2.0		○					
				5 (1)	6	4.5	○						
				5 (2)	10	6.8	○						
				5 (3)	12	4.8		○					
6	数列	50	12.7	5 (4)	22	1.3		○	○				
				6 (1)	8	5.5	○						
				6 (2)	10	4.7	○						
				6 (3)	12	1.9		○					
				6 (4)	20	0.7		○					

小問（単位問）別平均点＜国 語＞

国 語		受験者数： 133680 人													
設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力						
1	現代文「評論」の読解と内容把握	60	22.7	1.問1.a	2	1.1	○								
				1.問1.b	2	0.3	○								
				1.問1.c	2	1.2	○								
				1.問1.d	2	1.2	○								
				1.問1.e	2	1.2	○								
				1.問2	8	4.2		○							
				1.問3	7	1.7		○							
				1.問4	7	3.5		○							
				1.問5	16	4.0					○				
				1.問6	12	4.2		○							
				2	現代文「小説」の読解と内容把握	50	25.8	2.問1.a	2	2.0	○				
2.問1.b	2	1.8	○												
2.問1.c	2	1.4	○												
2.問2.x	3	1.9	○												
2.問2.y	3	0.7	○												
2.問3	6	4.4						○							
2.問4	7	4.0						○							
2.問5	16	4.7									○				
2.問6	7	4.2						○							
2.問7	2	0.6	○												
3	古文「日記」の読解と内容把握	50	14.4					3.問1.a	2	1.1	○				
				3.問1.b	2	1.0	○								
				3.問1.c	2	0.6	○								
				3.問1.d	2	1.0	○								
				3.問1.e	2	1.1	○								
				3.問2.x	2	0.7	○								
				3.問2.y	2	0.9	○								
				3.問2.z	2	0.7	○								
				3.問3.1	2	1.5	○								
				3.問3.4	2	0.5	○								
				3.問3.5	2	0.5	○								
				3.問4	8	1.5		○			○				
				3.問5	6	1.8		○							
				3.問6	12	1.1		○			○				
				3.問7	2	0.3	○								
				4	漢文「史伝」の読解と内容把握	40	13.1	4.問1.ア	2	0.2	○				
								4.問1.イ	2	0.2	○				
4.問1.ウ	2	1.5	○												
4.問2	5	1.3	○												
4.問3	7	1.6	○												
4.問4	7	1.9	○												
4.問5	10	2.5						○			○				
4.問6	5	3.8	○												

学習対策

ここでは教科・科目ごとにポイントとなる問題を取り上げ、その問題の概要と正解を導くために必要な力についてコメントをしています。今後の学習のアドバイス等も記してありますので、自分が受験した教科・科目を確認して復習に役立てましょう。

なお設問別アドバイス、採点基準、学力要素一覧表は、模試ナビ(河合塾 全統模試学習ナビゲーター)に掲載していますので、確認してください。

英語

英文の文構造を正しく理解しよう！

第3問 文法・語法

関係代名詞と関係副詞の使い分けを確認する問題。

文法問題では、品詞の役割を理解することに加え、問題文中の英文の文意だけでなく、文構造を正確に把握することが重要である。文法A7. で確認しよう。

7. The reason () Jim gave for being late for school didn't sound reasonable to the teacher.

The reason for being late for school didn't sound reasonable to the teacher. は「授業に遅刻した理由は先生には納得のいかないものに思えた」という意味。The reasonに後続する() Jim gave は「ジムが述べた」という意味だと考えられる。目的格の関係代名詞ウ.whichを入れると文法的に正しい英文になるが、エ. why やア. for which を選択した誤答が非常に多かった。関係副詞や〈前置詞+ which〉に続く部分は名詞的要素が欠けていない完全文であることを忘れないでほしい。The reason why [for which] Jim gave では、why [for which] に続く部分が他動詞 gave の目的語が欠けた不完全文となるので文法的に成立しない。文法問題では、文意だけでなく、英文の文構造を把握することが重要である。

第5問 長文総合

英文の構造を把握してから和訳する問題。

英文の下線部和訳問題では、単語の意味を適当につなぐという作業ではなく、品詞の働きを確認した上で、文構造を把握してから和訳するという実践してほしい。和訳問題の下線部(1)で確認しよう。

Of special interest to many doctors and parents are cases of childhood hearing loss caused by noise.

まず Of special interest to many doctors and parents の役割を押さえたい。〈of+ 抽象名詞〉は形容詞と同じ働きをするので、Of special interest to many doctors and parents は「多くの医師や親にとって特に興味深い」という意味の形容詞句となる。

SVC が CVS になることがあるため、文全体では形容詞句 Of special interest to many doctors and parents が補語(C)、are が動詞(V)、cases of childhood hearing loss caused by noise が主語(S)という文構造になっているのを見抜くことがポイントであった。文の要素の移動は入試でも頻出するので常に意識しておこう。

なお、cases of childhood hearing loss caused by noise は、caused by noise が childhood hearing loss を修飾する過去分詞句であり、cases を文脈から「症例」と訳すことで、「音によって引き起こされる子どもの頃の難聴の症例」という意味になる。

数学

問題の誘導にしっかり乗れるようになろう

第2問[2] 数学Ⅱ 図形と方程式

座標平面上の円と直線に関する問題

(2)の円Cと直線lが接するための条件を考える問題への対処方法は、大きく分けて2通りある。1つ目は、「(円の半径)=(円の中心と直線の距離)」に着目するものであり、2つ目は、円と直線の方程式を連立し、xまたはyを消去して得られる2次方程式が重解をもつことに着目するものである。いずれでも解答できるようにしておくことが望ましい。

(3)の前半のC'の中心Bの座標をtで表す問題は、後半の問題のための準備問題となっていて、図形的にちょっと考えれば直ちに求められるようなものであるが、難しく考えすぎて正解できなかった答案が意外に多かった。数学の問題は何でもかんでも式を立てて計算して求めるもの、という先入観をもつのはよくない。問題に取り組むときは、つねに色々な角度から眺め、最も易しく解ける道を探ることが大切である。逆に後半の2円CとC'が外接するときのtの値を求める問題は、2円の外接条件である「(2円の半径の和)=(2円の中心間距離)」をtで立式し、しっかり計算して求める道がベストであろう。

第3問 数学Ⅱ 式と証明・複素数と方程式

3次方程式に関する問題

3次方程式 $f(x)=0$ は $f(x)$ を少なくとも1次式と2次式の積に分解して解くのが常道である。(1)は共通因数xでくくる、(2)は解の1つである $x=2$ を見つけて、因数定理を用いる。

(4)(i)は、 $g(\alpha)=\beta$ と $g(\beta)=\alpha$ を辺々、足したり引いたりすることがポイントであるが、このような手法は未経験な人も多かったかもしれない。少なくとも、辺々を足した式である $g(\alpha)+g(\beta)=\beta+\alpha$ は見ての通り、両辺とも α と β を交換しても式として不変、すなわち α 、 β の対称式であるから、 α と β の和と積に繋がりがやすい。

また、(3)の多項式の割り算の問題と(4)の問題は、一見すると無関係のように見えたかもしれないが、(3)は(4)(ii)をより易しく解くために重要な意味をもつ。このように、設問にはその後の設問を解くために、何らかの役割や意味をもつことが多いことは知っておこう。

国語

【現代文】

問五

思考力や記述力を問う問題

記述問題では、本文を広く見て解答に必要な内容を読み取らなければならない問題も出題される。「陰謀論」を「『陰謀論だから』という理由だけで退けるべきではな」と筆者が言う理由については、傍線部から比較的近い箇所ですべて述べられているb～dのポイントだけでなく、第5段落や第8段落で述べられているa〈陰謀論だからといって必ずしもすべてが誤りとは言えない〉というポイントも指摘する必要がある。傍線部から離れた箇所に書かれているポイントをつかむためには、各段落の主旨や本文全体の展開を正確に読み取るが必要となるので、そうしたことを意識して本文を読み取る訓練をしてほしい。また、「陰謀論」と「科学理論」の相違点について書いている解答が見られたが、今回の設問ではそうした相違点について書く必要はないはずである。制限字数を設けた記述問題では、解答として必要のない内容まで書いてしまうと字数に余裕がなくなってしまうので、設問の要求をしっかりと踏まえて、〈何を説明するべきか〉ということを正確に理解して解答を作成するよう心がけてもらいたい。

問五

思考力や記述力を問う問題

㊦でも指摘したように、記述問題では、やみくもに解答をまとめようとするのではなく、設問の要求をしっかりと踏まえて、〈何を説明するべきか〉ということを正確に把握することがとても大切である。この設問では傍線部における道子の心情が問われているので、傍線部前半の「そこまで書いて」に対応する道子の心情(X)と、傍線部後半の「もうあとが続けられなかった」に対応する道子の心情(Y)をそれぞれ説明することが必要となる。Xについては、傍線部までの内容を踏まえて、Yについては傍線部の直後の内容を踏まえて説明すればよいのだが、Xについて十分説明できている解答があまり見られなかった。〈何を説明するべきか〉を最初に正確に理解することが記述問題では重要であるということを肝に銘じて練習を重ねてほしい。

【古文】

問四・問五

助動詞・慣用句をふまえた説明や訳出

第一回同様、現代語訳は基礎的な知識の理解としてもっとも直接的で重要な設問である。今回は、第一回よりやや難易度をあげた語句を問うた。第一回よりはよくできていた印象だが、傍線部5「あさましがりて」の誤答が多かったのは今後の課題である。「あさましがる」は重要古語である形容詞「あさまし」の派生語だが、派生語への対応ができなかったのか、「あさまし」そのものの意味が理解不足だったかは自覚的に省みる必要がある。問四の説明問題では助動詞「む」の理解をふまえずに誤答したものがあつた。現代語訳問題ではないので解答に推量表現を反映させる必要はかならずしもなかったが、過去・完了や現在としての表現を用いた説明は誤りである。問五の解釈問題では助動詞「む」と反語の「やは」を理解できなかったためと思われる誤答が散見された。また、「さてあらむやは」はなかば慣用化された表現でもあり、こちらからの視点からも今後の学習課題として注意する必要がある。

【漢文】

問三

句形や重要語の知識と文脈を踏まえて意味を考える力を問う問題

「阮孝緒の兄弟は阮孝緒を病気の母親のもとに呼び寄せようとした」という正解のような答えは少なかったが、「兄弟之を召さんと欲す」のうち、「召す」を「呼び寄せる・招く」と訳せなかった答案が非常に多かった。リード文に「阮孝緒をめぐるとある話である」とあるので、本文冒頭の「鍾山に於て聴講す」の主語は「阮孝緒」であり、続いて「母王氏忽ち疾有り、兄弟之を召さんと欲す」とあるので、母親が病気になったので、家を離れて仏教の講義を受けている阮孝緒を、呼び寄せようとしたと読み取らなければならなかった。また「母曰く、『孝緒は至性冥かに通ずれば、必ず当に自ら到るべし』と。果して心に驚きて返る」を「母親は言った、『阮孝緒は生まれつきの優れた性質ではるか遠くにあることを見通すことができるから、きっと自分から(私のもとに)やって来るにちがいない』と。思ったとおり(阮孝緒は)心で(母親の異変を)感じ取って(母親のもとに)戻ってきた」と正しく解釈できることも必要であった。

「採点に関する問い合わせ」について

このたびは、第2回全統高2模試を受験していただきありがとうございました。
 答案・個人成績表を見直した結果、今回の採点や得点に関して疑問や質問がある場合は、
 以下の手順に従ってお問い合わせください。

①送付先

右の問い合わせ用紙に記入し、13ページに記載されている河合塾の営業部あてに、郵送にてお送りください。なお、河合塾生(塾生として申し込んだ高校グリーンコース生)の方は、所属校舎へご提出ください。

②問い合わせ用紙の記入方法

太枠内をすべて記入してください。問い合わせ内容は、記入例を参考に以下の事項を記入してください。

1. 科目名、大問・設問番号
 2. 内容に該当する項目(A～Eの記号を選択)
 3. 問い合わせ内容記入欄に、具体的な内容を補足
- * 科目や項目が複数ある場合は、それぞれについて問題番号と内容を記入してください。
 * なお、志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

③提出していただくもの

1. 「採点に関する問い合わせ用紙」
 (提出前に必要事項にもれがないか、内容が具体的に記入してあるかを再度確認してください。)
 2. 「個人成績表」
 (コピーでもかまいません。)
- * ただし、Web返却対象者は必要ありません。

上記2点を同封し、封筒の表に朱書きにて「第2回全統高2模試 採点に関する問い合わせ用紙在中」と明記してお送りください。

- * 答案については提出不要です。ただし、解答用紙番号をもとに河合塾にて答案データ照合を行いますので、お問い合わせ箇所と内容について、具体的に記入してください。
 (不明点がある場合、確認のためにご連絡する場合があります。)
 なお、お問い合わせ箇所をより正確に指摘するため、答案(コピー)に明示し、添付されてもかまいません。

④送付締切日

10月16日(木)到着分まで受け付けいたします。

⑤返送日

回答は、11月7日(金)頃発送の予定です。

【個人情報の取り扱いについて】

1. 問い合わせ用紙に記入された個人情報は厳重に取り扱い、適正な個人情報の管理を実施します。
2. 利用目的 ・成績処理および成績返却
 ・個人を特定できない方法による統計資料の作成

「採点に関する問い合わせ用紙」の記入・提出方法についてご不明な点は全統模試サポートセンターへお問い合わせください。

※河合塾生(塾生として申し込んだ高校グリーンコース生)の方は、所属校舎にお問い合わせください。

全統模試サポートセンター(12:00～19:30 日曜、祝日および12/31～1/3は受付を行いません。)
 0120-977-558

*全統模試サポートセンターでは、正確な応対と対応品質向上のため、通話内容を録音させていただきます。

2025年度 第2回全統高2模試 採点に関する問い合わせ用紙

*太枠内をすべてご記入ください。

提出日 月 日

フリガナ氏名				受験会場名			
受験番号				個人成績表の解答用紙番号			—
高校名			クラス名		クラス番号		
住所(連絡先)	〒 —			※マンション名、部屋番号まで記入してください。 方			
電話番号	()	—	携帯電話番号	()	—		

*お問い合わせの該当箇所・内容がわかるように、詳細に記入してください。

科目名	大問	設問番号	項目
(例) 数学 口	[5]	[2]	B

- ←該当する項目(A～E)を左に記入してください。
- A: 正答が×になっている。
 - B: 部分点が正しく与えられていない。
 - C: 採点されていない箇所がある。
 - D: 成績表の得点が、答案と異なる。
 - E: その他(下記に具体的に記入してください。)
- *志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

【問い合わせ内容記入欄】*上の表に対する補足説明等をできるだけ詳しく記入してください。

(例) 数学 Pの座標が(6, 6)にある確率の説明箇所の部分点が与えられていない。

〔回答欄〕

回答者

受付日	受付者	返却日	返却者

お問い合わせ先一覧

■模試について

- ①個人でお申し込みの方 河合塾全統模試サポートセンター 0120-977-558
②学校を通じてお申し込みの方 河合塾全統模試サポートセンター 0120-717-558
③河合塾生の方 [高校グリーンコース生専用フリーダイヤル] 0120-751-577

*河合塾全統模試サポートセンター/高校グリーンコース生専用フリーダイヤル(12:00~19:30 日曜、祝日および12/31~1/3は受付を行いません。)

■採点に関する問い合わせ用紙の記入・提出方法について

- ①河合塾生の方 所属校舎
②河合塾生以外の方 河合塾全統模試サポートセンター 0120-977-558
www.kawai-juku.ac.jp/zento/grades/request/



■採点に関する問い合わせ用紙の送付先 受付時間 9:00~17:00 (土日祝休み)

- 北海道営業 〒060-0809 札幌市北区北9条西3-3 (河合塾札幌校内) TEL(011)708-8584
【担当地区:北海道】
- 東北営業 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-7-22 (河合塾仙台校自習棟内) TEL(022)215-7581
【担当地区:青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島】
- 関東営業 〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-67-2 (河合塾大宮校内) TEL(048)647-9581
【担当地区:茨城・栃木・群馬・埼玉・新潟・富山・長野】
- 首都圏営業 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-2 四谷グローバルスタディスクエア6階 TEL(03)6811-5532
【担当地区:千葉・東京・神奈川・山梨】
- 中部営業 〒464-8610 名古屋市千種区今池2-1-10 (河合塾千種校内) TEL(052)735-1511
【担当地区:岐阜・静岡・愛知・三重】
- 近畿営業 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-13-1 TEL(06)6372-5731
【担当地区:石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・岡山・徳島・香川・高知】
- 中四国営業 〒732-0057 広島市東区二葉の里1-1-50 (河合塾二葉の里オフィス2階) TEL(082)264-4581
【担当地区:島根・広島・山口・愛媛】
- 九州営業 〒810-8619 福岡市中央区渡辺通4-2-11 (河合塾福岡校内) TEL(092)714-5711
【担当地区:福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄】